

令和4年度 国立吉備青少年自然の家教育事業  
リズムック\*トラベラー

1. 事業の目的（趣旨・ねらい）

自然の中で生まれる人間のエネルギーを音楽へと昇華して、家族や仲間と喜びや楽しさを共有する。電子テクノロジーの活用により、誰しものがアンサンブルを体験することができる。

2. 事業の概要

(1) 共催 公益財団法人 かけはし芸術文化振興財団

(2) 期日

令和4年7月9日（土） 7月10日（日） 日帰り2日

(3) 参加者

- ① 募集対象・人数 出前事業を受講した小学生とその家族・各日15家族程度
- ② 参加人数 9日：10家族26人 【申込人数 20家族60人】  
10日：12家族40人 【申込人数 17家族56人】

(4) 講師等

MASAKing 氏（ミュージシャン）

(5) 企画・運営のポイント

- ① 室内だけでなく屋外に出て活動することで、自然を感じてもらいながらボディパーカッションを楽しむことができた。
- ② 電子楽器や音楽アプリの体験を4グループに分かれて行うことで、子どもたちだけでなく保護者も含めて体験してもらい、アンサンブルを行うことができた。

3. 活動の内容等

(1) 日程

7月9日（土）、10日（日）	
9:30	受付
10:00	開会式
10:15	アイスブレイク・ボディパーカッション
11:30	昼食・休憩
13:00	電子楽器体験（HANDSONIC・音楽アプリ）・アンサンブル
15:20	ミニコンサート
15:45	閉会式

## (2) 活動の状況



【ボディパーカッション】



【自然の中でボディパーカッション】



【HANDSONIC 体験】



【音楽アプリ体験】



【アンサンブル】



【電子ドラム体験】

## 4. 成果・課題

(1) 満足度 満足：100%

### (2) 参加者の声

- ① 今まで子どもと音楽イベントに行ったことがなかったので、どんなことをするのかドキドキしていましたが、様々な楽器に触れ、テクノロジーに驚かされ、いろいろと刺激になりました。
- ② 自分のスマホに入っていたアプリを体験できたので、使い方が知れてよかった。
- ③ 音楽が大好きな息子と1日過ごし、本当に楽しそうな姿が見られて幸せでした。これからも音楽を通して子どもとのコミュニケーションを楽しんでいきたいと思えます。

### (3) 成果

- ① 広場での活動の際には、静かにして自然の音を聞いたりして、室内とは違ったボディパーカッションを楽しむことができた。
- ② 無料の音楽アプリを使って演奏体験やアンサンブルをしたため、家に帰ってからも音楽を楽しんでもらうきっかけになったと考えられる。

### (4) 今後の課題

- ① 共催事業のためキャンセル連絡がそれぞれに来たため、今後は窓口を1つにし、情報共有を密に行う必要がある。
- ② 当日キャンセルが複数名出た要因として、申込期間が長いいため早く申し込んだ人は参加決定の連絡まで1か月ほどあった。この期間を短くすることでキャンセル減少につながると考えられる。
- ③ 企画や準備を円滑に行うために、協定書で役割分担について明らかにする必要がある。

担当：企画指導専門職付係員 角田 怜那